

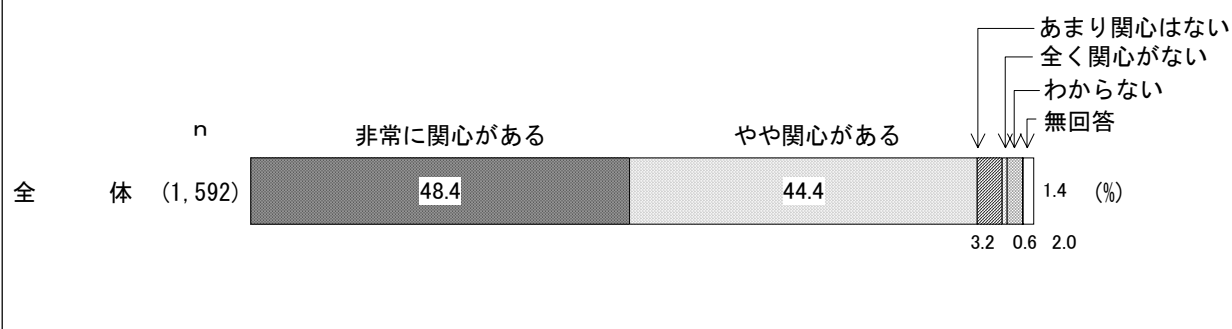
6 地球温暖化問題について

(1) 地球温暖化問題への関心度

◇『関心がある』は9割を超える

問20 最近、新聞やテレビで地球温暖化をテーマにした報道が多く見られますが、あなたは地球温暖化問題について、どのくらい関心をおもちですか。(○は1つ)

<図表6-1>地球温暖化問題への関心度



地球温暖化問題についてどの程度関心があるか聞いたところ、「非常に関心がある」(48.4%)が約5割、「やや関心がある」(44.4%)が4割台半ばで、この2つを合わせた『関心がある』(92.8%)は9割を超えている。(図表6-1)

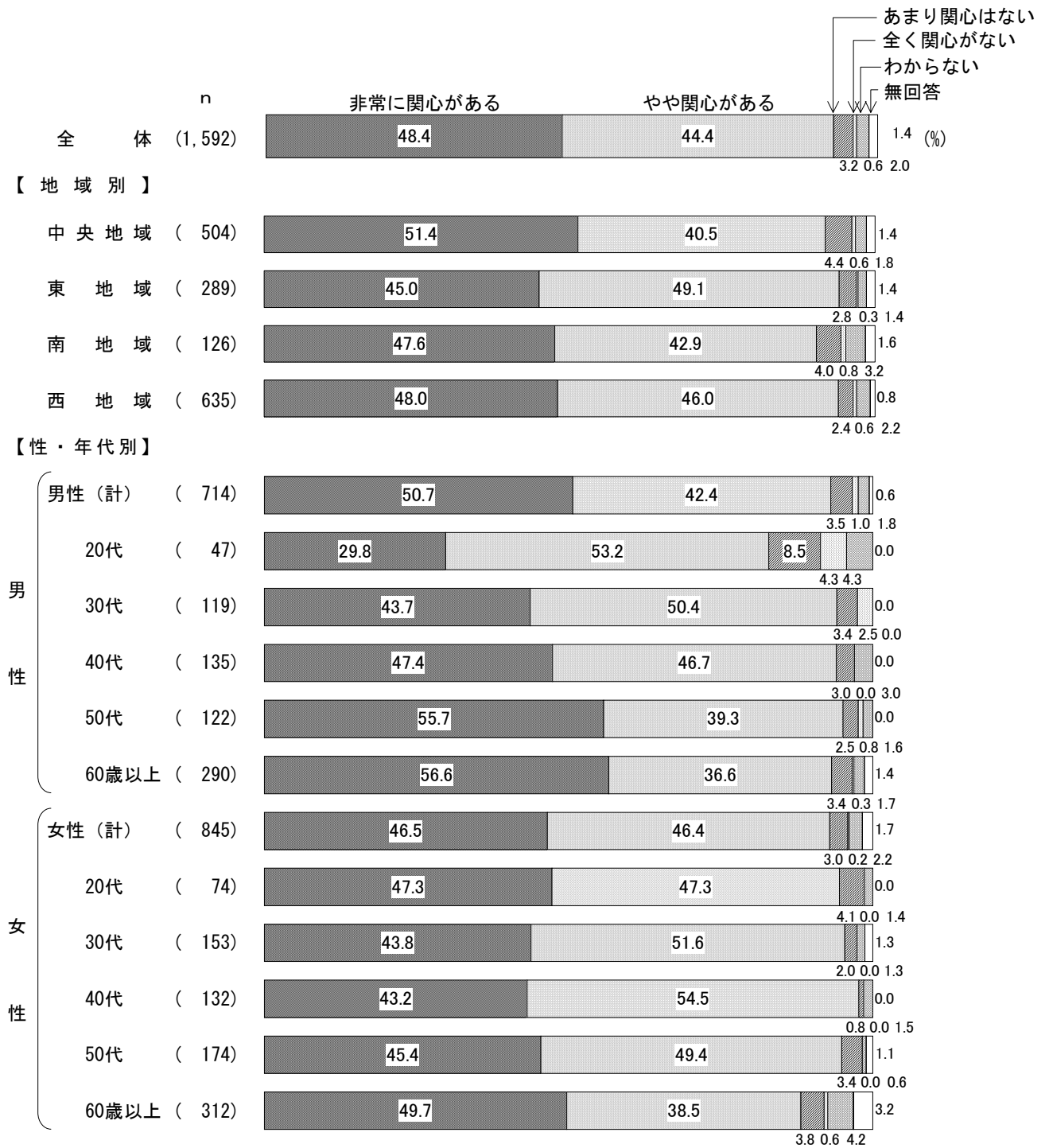
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表6-2)

【性・年代別】

性・年代別で見ると、「非常に関心がある」は男性の50代(55.7%)と60歳以上(56.6%)で5割台半ばとなっているが、男性20代(29.8%)では約3割にとどまっている。『関心がある』の割合では、最も割合の低い男性20代(83.0%)でも8割台半ばとなっており、各世代ともに関心度は非常に高くなっている。(図表6-2)

<図表6-2>地球温暖化問題への関心度/地域別、性・年代別

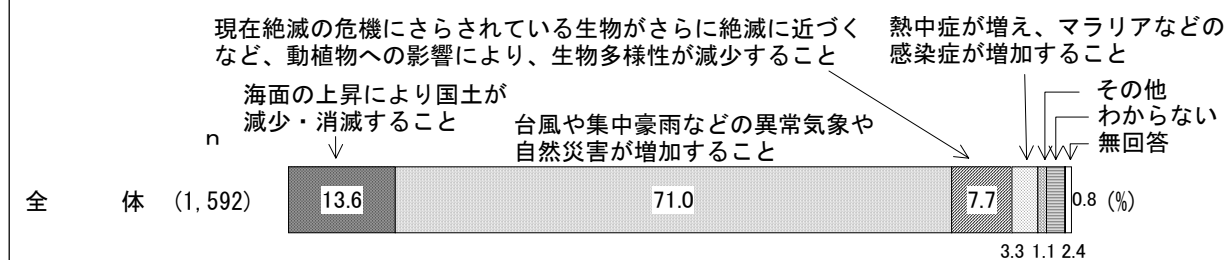


(2) 地球温暖化によって起こりうると思う問題

◇「台風や集中豪雨などの異常気象や自然災害が増加すること」が7割を超える

問 21 地球温暖化によって、私たちの生活に様々な影響が出ると予測されています。あなたは、近年、起こりうる最も深刻な問題はどれだと思いますか。(〇は1つ)

<図表6-3>地球温暖化によって起こりうると思う問題



地球温暖化によって、近年起こりうると思う最も深刻な問題は何か聞いたところ、「台風や集中豪雨などの異常気象や自然災害が増加すること」(71.0%)が7割を超えて最も高い。他の項目は、「海面の上昇により国土が減少・消滅すること」(13.6%)は1割台半ば、「現在絶滅の危機にさらされている生物がさらに絶滅に近づくなど、動植物への影響により、生物多様性が減少すること」(7.7%)、「熱中症が増え、マラリアなどの感染症が増加すること」(3.3%)にとどまっている。

(図表6-3)

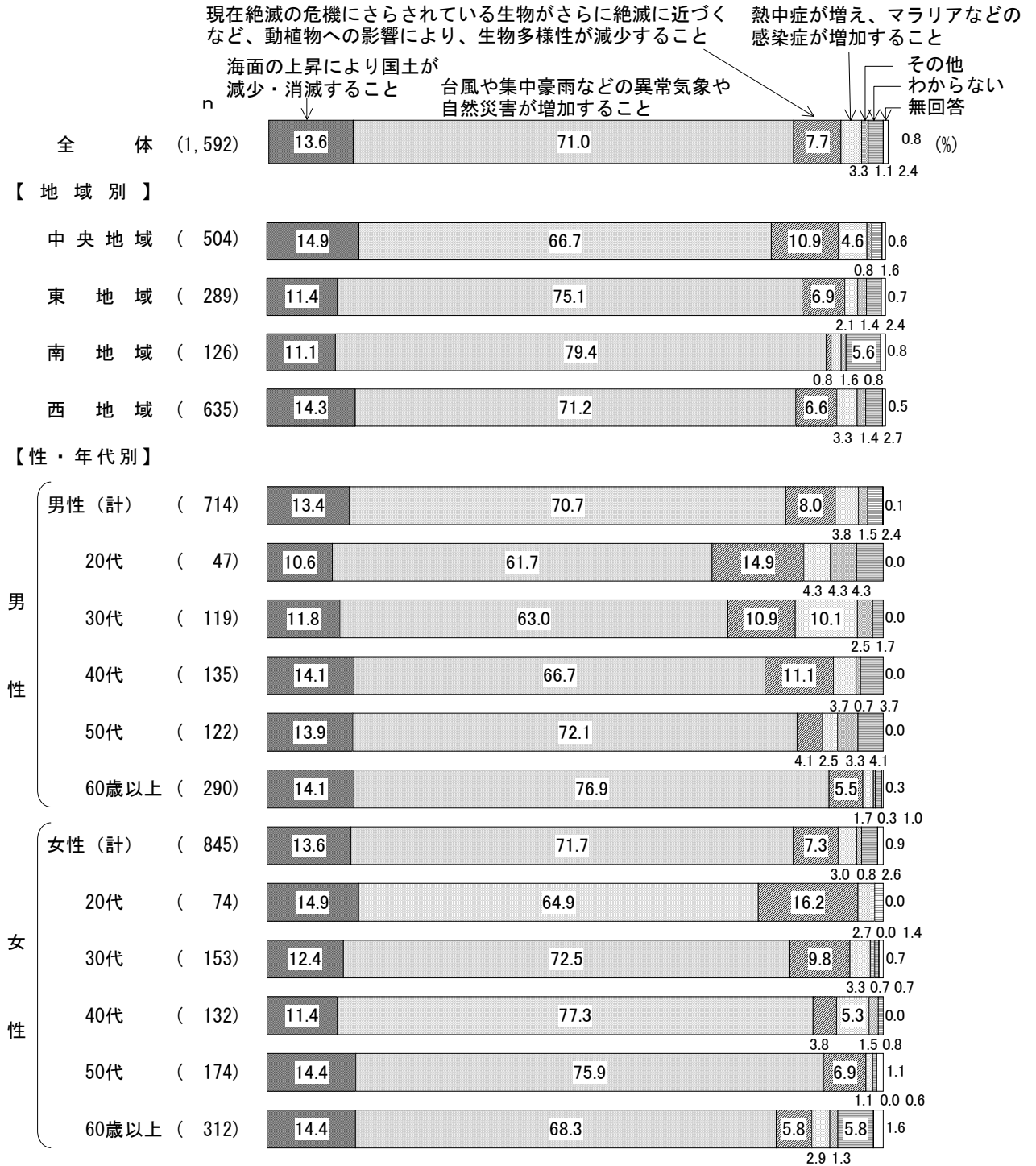
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表6-4)

【性・年代別】

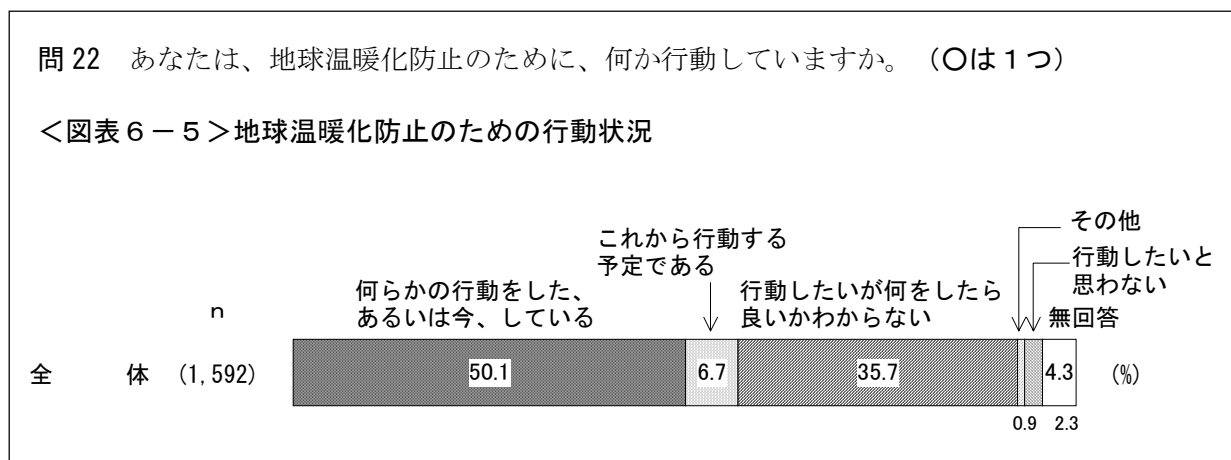
性・年代別でみると、「現在絶滅の危機にさらされている生物がさらに絶滅に近づくなど、動植物への影響により、生物多様性が減少すること」は、男女とも20代(男性14.9%、女性16.2%)で1割台半ばと他の年代より高くなっている。(図表6-4)

<図表6-4>地球温暖化によって起こりうると思う問題／地域別、性・年代別



(3) 地球温暖化防止のための行動状況

◇「何らかの行動をした、あるいは今、している」は5割



地球温暖化の防止のために、何か行動をしているか聞いたところ、「何らかの行動をした、あるいは今、している」(50.1%)は5割となっている。「これから行動する予定である」(6.7%)も約1割、「行動したいが何をしたら良いかわからない」(35.7%)は3割台半ばである。

(図表 6-5)

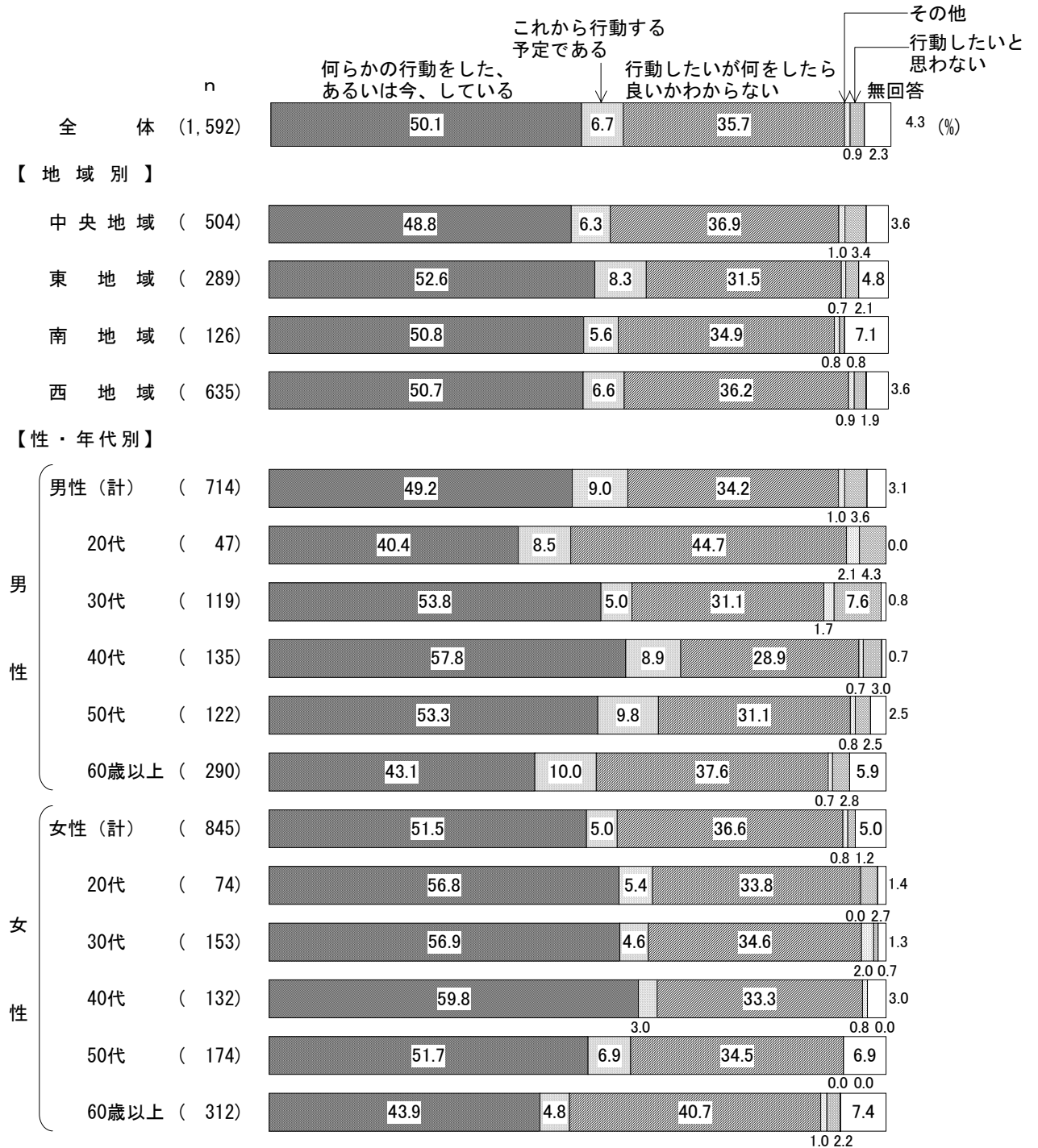
【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表 6-6)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「何らかの行動をした、あるいは今、している」は男女とも40代(男性57.8%、女性59.8%)で約6割と他の年代より高くなっている。一方、男性20代(40.4%)と男女の60歳以上(男性43.1%、女性43.9%)では4割台半ば以下にとどまっている。(図表 6-6)

<図表6-6>地球温暖化防止のための行動状況／地域別、性・年代別



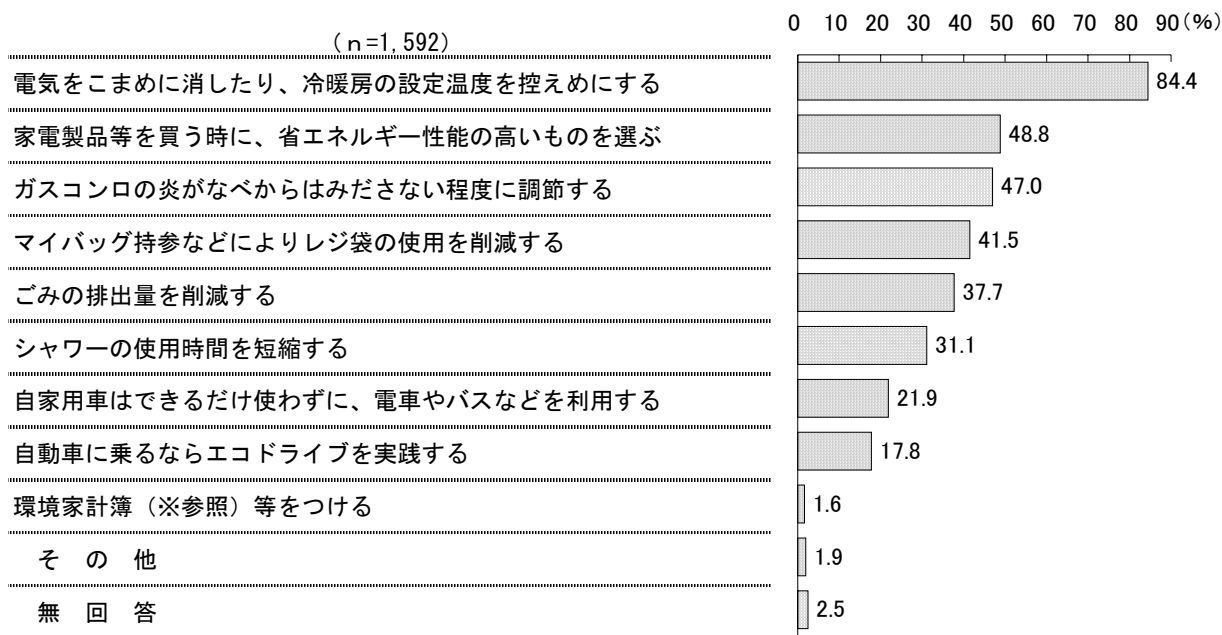
(4) 地球温暖化防止のために日常生活で行っていること

◇「電気をこまめに消したり、冷暖房の設定温度を控えめにする」が8割台半ば

問 23 あなたが地球温暖化防止のために日常生活で行っていることはありますか。

(○はいくつでも)

<図表 6-7> 地球温暖化防止のために日常生活で行っていること



※環境家計簿

毎日の生活の中で環境に関係する出来事や行動を家計簿のように記録し、家庭でどんな環境負荷が発生しているかを家計の収支計算のように行うもの。毎月使用する電気、ガス、水道、ガソリン、燃えるごみなどの量に二酸化炭素（CO₂）を出す係数を掛けて、その家庭でのCO₂排出量を計算する。

県では、簡単に環境家計簿に取り組める「ちばCO₂CO₂（こつこつ）ダイエツトファミリーキャンペーン」を実施している。

地球温暖化の防止のために日常生活で行っていることをいくつでも選んでもらったところ、「電気をこまめに消したり、冷暖房の設定温度を控えめにする」（84.4%）が8割台半ばで特に高い。これに、「家電製品等を買う時に、省エネルギー性能の高いものを選ぶ」（48.8%）、「ガスコンロの炎がなべからはみださない程度に調節する」（47.0%）、「マイバッグ持参などによりレジ袋の使用を削減する」（41.5%）、「ごみの排出量を削減する」（37.7%）が続く。（図表 6-7）

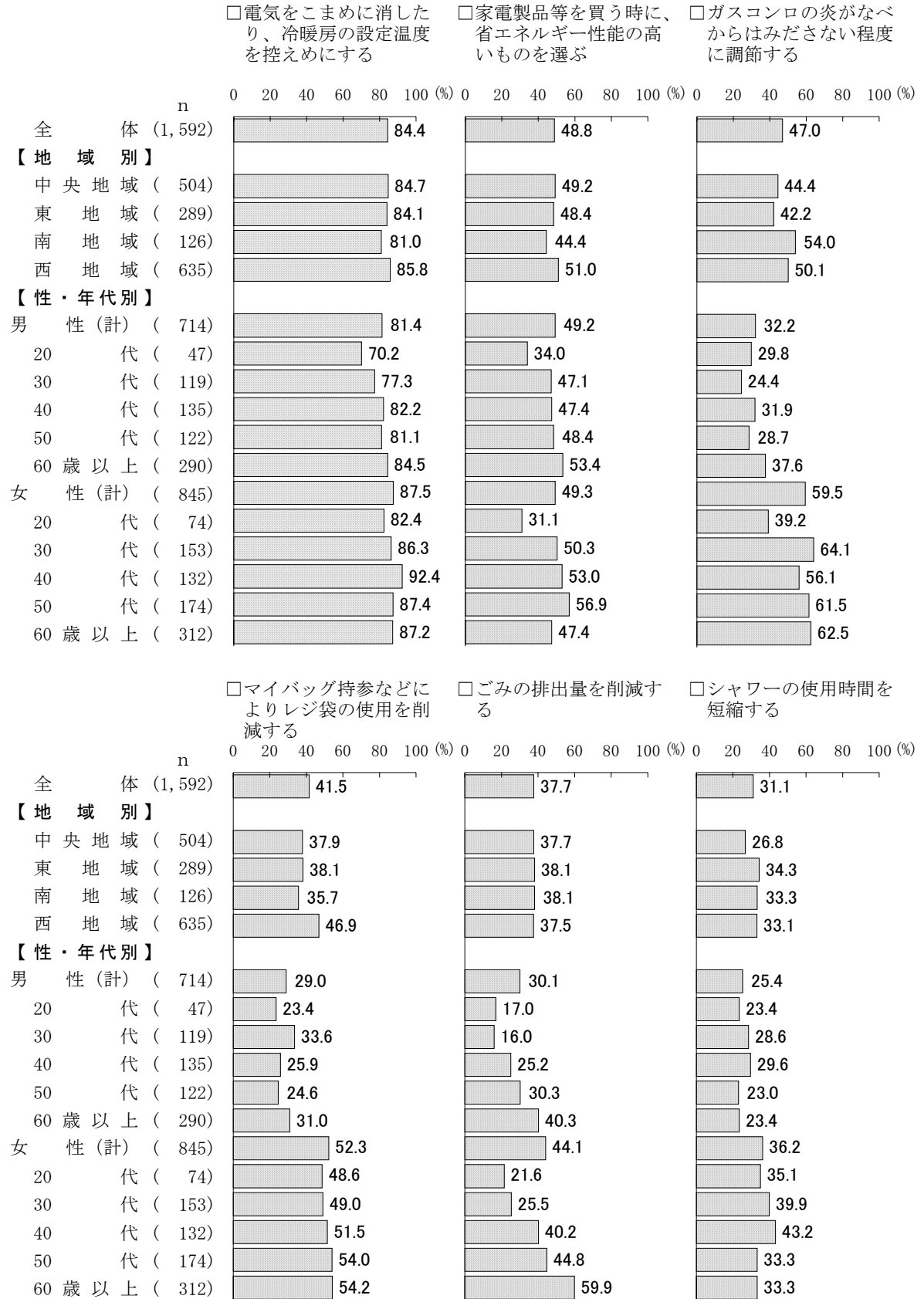
【地域別】

地域別でみると、「マイバッグ持参などによりレジ袋の使用を削減する」は“西地域”（46.9%）で4割台半ばと他の地域より高くなっている。（図表 6-8）

【性・年代別】

性・年代別でみると、「ガスコンロの炎がなべからはみださない程度に調節する」は女性の方が男性より約27ポイント、「マイバッグ持参などによりレジ袋の使用を削減する」は女性の方が男性より約23ポイント高くなっている。「ごみの排出量を削減する」は男女とも年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にある。（図表 6-8）

<図表6-8>地球温暖化防止のために日常生活で行っていること／地域別、性・年代別
(上位6項目)

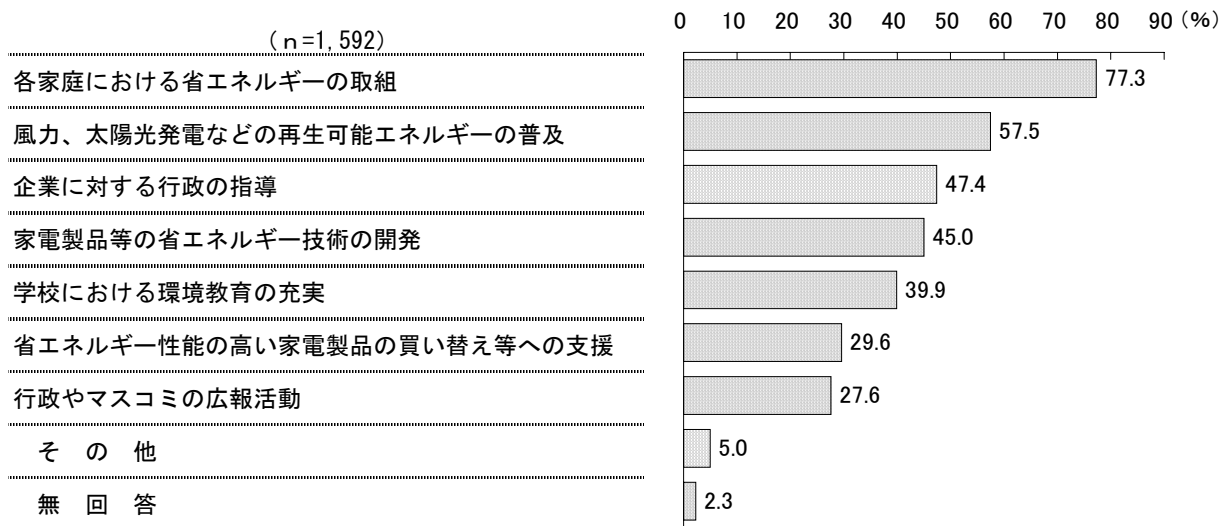


(5) 地球温暖化防止のために必要なこと

◇「各家庭における省エネルギーの取組」が約8割

問 24 あなたは、地球温暖化対策に必要なことはどんなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

<図表 6-9> 地球温暖化防止のために必要なこと



地球温暖化対策に必要だと思うことをいくつでも選んでもらったところ、「各家庭における省エネルギーの取組」(77.3%)が約8割で最も高くなっている。これに「風力、太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及」(57.5%)、「企業に対する行政の指導」(47.4%)、「家電製品等の省エネルギー技術の開発」(45.0%)、「学校における環境教育の充実」(39.9%)が続く。(図表 6-9)

【地域別】

地域による特に大きな違いはみられない。(図表 6-10)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「各家庭における省エネルギーの取組」は女性では各年代とも8割を上回っているが、男性20代(59.6%)では約6割にとどまっている。「風力、太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及」は女性20代(70.3%)で7割と高い。「学校における環境教育の充実」は女性の20代(54.1%)と30代(51.0%)、男性20代(51.1%)で5割以上となっている。

(図表 6-10)

<図表6-10>地球温暖化防止のために必要なこと／地域別、性・年代別（上位6項目）

